



会長 猪股育夫
幹事 熊谷敏明
会報 鈴木彦太 佐々木源悦
 布施孝尚
 例会場 ホテルサンシャイン佐沼 ☎22-8180 FAX22-0327
 例会日 毎週木曜日 12:30~13:30
 事務所 ホテルサンシャイン佐沼 ☎22-8180 FAX22-0327

第2491回例会 2015. 3. 12 No.35

本日の出席率

・本日の出席率 63.6%

ニコニコボックス

- ・阿部泰彦会員 大震災から4年が経ちました。長い間のロータリアンのご支援に心から感謝を申し上げます。本日は、愛知県刈谷市の東北の心とみんなの心を結ぼう！私たちは3.11を忘れない！「キャンドルナイトイルミネーション」のイベント参加に行きまして参ります。
- ・菅野幸一郎会員 先日は、家内の誕生日にきれいな花を頂きありがとうございます。本日のスピーチ楽しみにしております。
- ・山田正会員 本日は、スピーチ担当です。よろしくお願ひ致します。
- ・鈴木彦太会員 山田正会員のナイススピーチご期待を致します。巨大地震と津波、東日本大震災3.11で発生から4年を迎える午後2時46分、復興の加速を誓い、ロータリアンの亡くなった友人、家族の方々の冥福を祈ります。
- ・布施孝之会員 東日本大震災4周年を追悼します。山田正会員のスピーチに期待して。
- ・高橋義文会員 本日のスピーチを楽しみに期待します。東日本大震災4周年、早い復興をお願いして。
- ・飯塚仁哉会員 山田正会員のスピーチ、興味を持って聞きますよ。
- ・菅原文之会員 山田正会員のスピーチを楽しみに。
- ・及川富男会員 山田正会員のスピーチに期待して。
- ・山田直志会員 先週欠席しました。
- ・熊谷敏明幹事以下 山田正会員のスピーチに期待。
 佐々木崇会員 佐藤敬喜会員 氏家良典会員
 佐々木源悦会員 小泉洋会員 小野寺伸浩会員

- 富士原裕子会員 武川毅会員 太田陽平会員
 - 只野佳旦会員 岩瀬栄市会員 佐藤早智子会員
 - 佐々木淳会員 千葉正宏会員 加藤亮会員
- 以上、ありがとうございました。

会長要件

猪股育夫会長、西門RC創立38周年式典に参加のため訪台につき、会長要件はなし。

幹事報告 熊谷敏明幹事

- ・2520地区、地区大会実行委員長より
地区大会参加についての連絡
- ・第5分区登米・栗原ゾーンのガバナー補佐より
会長、幹事会の案内が届く
日時 3月27日(金) 午後6時30分~
場所 若柳「千鳥」
登録料 3,000円
- ・登米市市民生活部より
2015登米市クリーンアップ湖沼群の開催の案内
日時 3月21日(土) 8:30~10:00
場所 長沼フットピア公園

各委員会報告

- ・社会奉仕委員会 (武川毅委員長)
幹事報告にありましたように、3月21日(土)春分の日「2015登米市クリーンアップ湖沼群」が開催されます。多くの参加をお待ちしております。
- ・職業奉仕委員会 (菅原文之委員長)
次週の例会は、職場訪問のため移動して行われます。昼食は12:00~12:20となっております。遅れないようお願い致します。

今週のスピーチ

「貸切バス事情と弊社の取り組み」 山田正会員

皆さんもご存知かと思いますが、2012年4月に関越自動車道で高速バスが防音壁に衝突する事故が発生しました。大変大きな事故でした。又、北陸自動車道での宮城バスさんの事故、これも心身喪失でした。関越の方も居眠りということで、どちらも体に起因する事故でした。

我々バス業界は運輸局の管轄で運行しておりますが、改善基準が更に強化され主だった形としては拘束時間が1日13時間以内を基本とし、これを延長する場合であっても最大16時間におさえなさい。もし16時間運行した場合は、他の日は一切残業をしてはいけないということで大変厳しくなっております。連続4時間以上運転してはいけません。4時間運転すれば必ず30分休憩をとる。2時間に15分ずつ休憩をとれば4時間で30分の休憩がとれます。このような形で強化されております。

運転と運転の間が必ず8時間以上連続して休憩をとらなければなりません。もし6時間の休憩で30分運行した場合は、あとは10時間休憩をとりなさいということです。但し、ツーマンの場合には、最大で20時間運行が出来ます。休憩時間は8時間でなく4時間でよいというような改善が提示されております。

安全教育をしたり、車輛設備として色々な安全装置をつけるのは当然ですが、やはり一番こわいのは運転する方々の健康管理です。運転点呼の場合必ずアルコールチェックをします。遠方の宿泊先ではIT点呼をやっております。その様にしている、ねむ気がしたりします。弊社としましては、外部機関と連携して健康管理ノートを作り、1月から始めております。

健康管理ノートには、健康起因事故を未然に防ぐため次の3つのアクションをあげ運転者に活用してもらっています。

- ①「健康状態を理解するアクション」
- ②「不安事項を会社に知らせるアクション」
- ③「健康状態を改善するアクション」

運転者の一人ひとりの真摯な健康への取り組みは、お客さまからの安心や信頼を得るだけでなく、会社の発展、ひいては、運転者やその家族の幸せへとつながります。“命を守るプロ”としての自覚を持ち、毎日徹底した健康管理を行っています。

運転免許の最高峰である2種免許を持っている運転手が復興事業のためのダンプの運転手の方が給料がいいということで、そちらに流れておりますので、かなり人材不足となっております。今いるドライバーさん方をきちんと健康を意識していただいて長く勤めていただくというのも、事故を起こさないということも含めて人材不足の大きな対応のひとつと考えております。

健康管理ノートの内容ですが、まず、健康診断から総合判定として、運転者の健康危険度を、健康層、低リスク、中リスク、高リスクをピラミッド型で表わしどの位置にあるのか、又、死の4要素である肥満、脂質異常、高血圧、高血糖の項目についての個別判定も

知らせ、危険状態をきちんと確認し、健康改善に取り組んでもらいます。これは、個々に専門家より指導していただきます。

睡眠時無呼吸症候群(SAS)についても、大変な危険度があることを直接指導しながら、単に健康診断を受けただけでなく、これからどう対応していけば健康な体になるのかという部分を指導していきます。

業務中に出来る簡単なエクササイズもやる。そして、食生活です。カロリーの高いもの、塩分の多いものはあまりとらないように食事の指導をします。

一番問題なのはお酒です。ドライバー流お酒との上手な付き合い方として、アルコール量を知って調整、おつまみはローカロリーを選びましょう。毎日お酒を飲む人は、週に一度飲酒する人より、血圧が平均5~7ミリHg高いと言われています。またお酒によって生活習慣病になっている人が、お酒の量を85%減らし同時にエネルギー調整をすると、血圧が10ミリHg減少し体重は10キログラム減少すると報告されています。お酒の飲みすぎは肥満だけでなく、高血糖を促進したり、脂質異常や糖尿病の発症にもつながります。また、脂肪肝など肝機能の低下を招く病気の原因にもなります。ドライバーのみなさんには「節度ある適度な飲酒」をおすすめします。純アルコールにして1日20グラム程度をすすめます。これをお酒の種類で換算するとビールは大ビン1本(633ml)、日本酒は1合(180ml)、ウイスキーはダブル(60ml)、焼酎は0.6合(110ml)、ワインはグラス2杯(220ml)となります。

おつまみのポイントは、低エネルギー、低脂質、低塩分で高栄養のもの。肉系では鶏のささみ、馬刺、肉じゃが、ロールキャベツ等。魚系では、刺身、背青魚の煮魚、焼き魚、野菜、海藻系はノンオイルのドレッシングで。

毎日の健康管理のチェックは、運輸局に運輸安全マネジメントという制度があり、これは、トラックであれタクシーであれバスであれ全運輸業に関して実施をなさうということになっております。組織的でなく経営者トップ自らがドライバーと一緒に活動しなさいということで、いわゆるPDCA(計画、実行、チェック、アクション)貸借バス自動車全ての事業者が対象で法律で決まっております。脳、心疾患にかかわる前兆、自覚症状で急を要する7項目、平時の状態との比較で気をつけたい8項目、全部で15項目のチェックがあります。

更に、セーフティバスというのがあります。これは、お客さまが安全なバス会社を選ぶ場合に「貸切バス事業安全性評価認定制度」があります。配点式で認定。

- ア)安全性に対する取組状況(配点60点)
 - イ)事故及び行政処分の状況(配点20点)
 - ウ)運輸安全マネジメントの取組状況(配点20点)
- 60点で「一つ星」80点で「二つ星」更新1回以降継続して80点以上は「三つ星」。これを取ることでバス業者は、宮城県から東京に行く、そして帰ってくる。成田からお客さんを宮城県に連れて来る、宮城県で空港からアウトするといったことが出来ます。又路線バスの代行も出来ます。年間可動率が上がります。

一 以下、紙面の都合上割愛させていただきます。